

第2学年 社会（地理・歴史的分野）年間指導計画

1 教科目標

広い視野に立って、社会に対する関心を高め、諸資料に基づいて多面的・多角的に考察し、我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を深め、公民としての基礎的教養を培い、国際社会に生きる平和で民主的な国家・社会の形成者として必要な公民的資質の基礎を養う。

2 評価の観点

社会的事象への 関心・意欲・態度	社会的な思考・判断・表現	資料活用の技能	社会的事象についての 知識・理解
社会的事象に対する関心を高め、それを意欲的に追究し、よりよい社会を考え、国民としての自覚を持つようとしている。	社会的事象から課題を見だし、社会的事象の意義や特色、相互の関連を多面的・多角的に考察し、社会の変化を踏まえ、公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	社会的事象に関する様々な資料を収集し有用な情報を選択し、効果的に活用している。	社会的事象の意義や特色、相互の関連などを理解し、その知識を身に付けている。

3 評価基準（100点満点）

観点 方法	社会的事象への 関心・意欲・態度	社会的な思考・ 判断・表現	観察・資料活用 の技能	社会的事業につい ての知識・理解	合計
定期試験		25	25	25	75
小テスト	15				15
提出物・授業態度	10				10
合計	25	25	25	25	100

4 使用教材

教科書「新しい社会 地理」（東京書籍）

教科書「新しい社会 歴史」（東京書籍）

5 年間学習計画（105時間）

学 期	月	単元名	学習目標	時 間	主な評価基準	評価 方法
1	4	地理的分野の 復習	・1年時での学習内容を復習する。	2	・「世界のすがた」や「世界各地の人々の生活と環境」「世界の諸地域」など1年時での学習内容を理解し、その知識を身に付けている。（知識理解） ・日本の位置と領域の特色を、世界的な視野から多面的・多角的に考察し、簡単な説明文にまとめるなど適切に表現している。 ・標準時と時差のしくみを通して、地球上における日本と世界各地との位置関係をとりえている。（思考判断）	小テ スト
		第1章日本の すがた	・経度の違いが、わたしたちの生活にどのように影響するのか、標準時と時差のしくみを踏まえて大観させ、地球上における日本と世界各地との位置関係をとりえさせる。 ・都道府県と県庁所在地の名称と位置を地図上で確実に身に付けさせるとともに、地名への関心を高めさせる。また、日本の略地図の描き方を身に付けさせる。 ・日本の地域構成の基本的な枠組み（地域区分）をとらえる活動に意欲を持って取り組ませるとともに、地図を活用する方法を身に付けさせる。	18		
	5	第2章 世界からみた 日本のすがた	・世界的視野からみた日本の地域的特色や、日本全体の視野からみた国内の諸地域の特徴を「自然環境」「人口」「資源エネルギーと産業」「地域間の結びつき」の4つの観点からとらえる活動を通して、日本の国土の特色を大観させる。 ・4つの観点から、世界と日本、日本国内の地域間を比較関連づけて考察することで、日本の地域的特色を多面的・多角的にとらえる視点や方法を身に付けさせる。	15		
	6 7	★言語活動 写真や表、グ ラフを読み取 り自分の考え を発表する。				
					・日本の地域的特色に対する関心を高め、これまでの学習で得た知識を活用しながら意欲的に追究し、とらえようとしている。（関心意欲） ・これまで学習した日本の諸地域の地域的特色を基に日本全体の地域的特色としてとらえ直し、学習してきた七つの視点から多面的・多角的に考察している。（思考判断） ・地域的特色を学習し、多面的・多角的に考察した過程や結果を、適切に図表化したり自分の言葉で表現している。（思考表現） ・これまでの学習で使用した地図や統計、写真などの資料から、日本全体の地域的特色について有用な情報を適切に選択して、読み取ったりまとめたりしている。（資料活用の技能）	定期 試験 提出 物 小テ スト

	9	第3章 日本の諸地域	・日本の諸地域の地域的特色をとらえるとともに、そこで学んだことを基にして広い視野から日本全体の地域的特色に気付かせる。 ・地域的特色ある事象を、他の事象と関連付けて考察することを通して、地理的な見方や考え方を育む。 ・九州地方 ・中国四国地方 ・近畿地方 ・中部地方 ・関東地方 ・東北地方 ・北海道地方	18	・4つの観点について、日本の地域的特色と、日本全体の視野からみた国内の諸地域的特色をとらえる学習に関心を持ち、意欲的に取り組んでいる。(関心意欲) ・日本の地域的特色を、世界的視野や日本全体の視野から学習するために統計資料などを適切に選択するとともに地図にまとめたり発表したりしている。(資料活用の技能) ・日本国内の諸地域的特色を理解するとともに地域的特色を明らかにする視点や方法を身に付けている。(知識理解)	定期試験 提出物 小テスト
	10	★言語活動 写真や表、グラフを読み取り自分の考えを発表する。				
2	11	歴史的分野の復習 第4章 近世の日本	・1年時での学習内容を復習する。 ・ヨーロッパ文化の伝来や東南アジア各地への日本人の渡航などの対外関係が活発な時期から、外国との交渉が限定された時期へと移っていったことを理解させる。 ・産業や交通が著しく発達し、町人文化が形成されていった様子を、今日に残る文化財や史料などから把握させ、文化遺産を尊重する態度を育てる。 ・安定した社会が次第に変化し、行き詰まっていく原因について、社会の仕組みや経済の変化などから考えさせる。	2	・「古代までの日本」「中世の日本」など1年時での学習を理解し、それぞれの時代の知識を身に付けている。(知識理解)	定期試験 提出物
	12	★言語活動 自分の考えをきちんとまとめて相手に分かるように伝える。		15	・近世社会の成立とその後の社会の変化や政治の展開に対する関心を高め、意欲的に追究している(関心意欲) ・産業・交通の著しい発達と政治や文化の動きとの関連を、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。(思考判断) ・近世の日本の動きを政治・経済・外交・文化などの項目に分けて、情報を適切に選択して図表などにまとめている。(資料活用の技能) ・近世社会の成立とその後の社会変化や政治の展開を世界の歴史を背景に理解し、その知識を身に付けている。(知識理解)	小テスト
3	1	第5章 開国と近代日本の歩み	・欧米諸国が近代社会を成立させて、アジアへ進出したことを理解させる。 ・明治新政府による改革の特色を考えさせ、明治維新によって近代国家の基礎が整えられて人々の生活が大きく変化したことを理解させる。	35	・近代日本が形成されていく過程に関心を持ち、欧米諸国とのかかわりに留意しながら、意欲的に追究している。(関心意欲) ・近代日本が形成されていく過程を、国際情勢や国内の動きから多面的・多角的に考察し、公正に判断して適切に表現している。(思考判断) ・近代日本が成立していく過程を、図版、史料、年表などの近代に関する様々な資料を活用し、追究した結果を読み取ったりまとめたりしている。(資料活用の技能) ・開国から明治維新を経て近代国家を形成していく過程を、欧米諸国の歴史を背景に理解し、その知識を身に付けている。(知識理解)	定期試験 提出物 小テスト
	2	★言語活動 自分の考えを根拠を明らかにして文章に書く。	・立憲制国家が成立して議会政治が始まり、日本の国際的地位が向上したことを理解させる。 ・日本で近代産業が発展し、近代文化が形成されたことを理解させる。			
	3				・日本の諸地域の自然環境や人口、産業などの特色について概観し、その結果として基礎的・基本的な知識を身に付けている。(知識理解) ・それぞれの追究テーマを基に、日本の諸地域の地域的特色や地域の課題を理解し、その知識を身に付けている。(知識理解)	